

Air Tower Series

 エアタワーシリーズ



Air Tower Series
エアタワーシリーズ

高速手段の発達と共にタイヤの安全性と整備への関心が高まっています。

しかし、意外と怠ってしまっているのがタイヤの空気圧の点検です。

高速走行によりタイヤはますます酷使され、それに伴いタイヤの整備不良が原因と見られる事故が多くなっています。

車の安全走行のためには、規則の正しい理解と安全面での一層の充実、さらに確実にスピーディーな整備を目指す事が重要です。



エアタワー AT Series *Series AT*

エアタワー AT シリーズは、車両のタイヤ空気圧調整用スタンドユニットです。

フロア設置タイプ、壁掛タイプの2種類を取り揃えております。



881163 AT-930S

881164 AT-930K

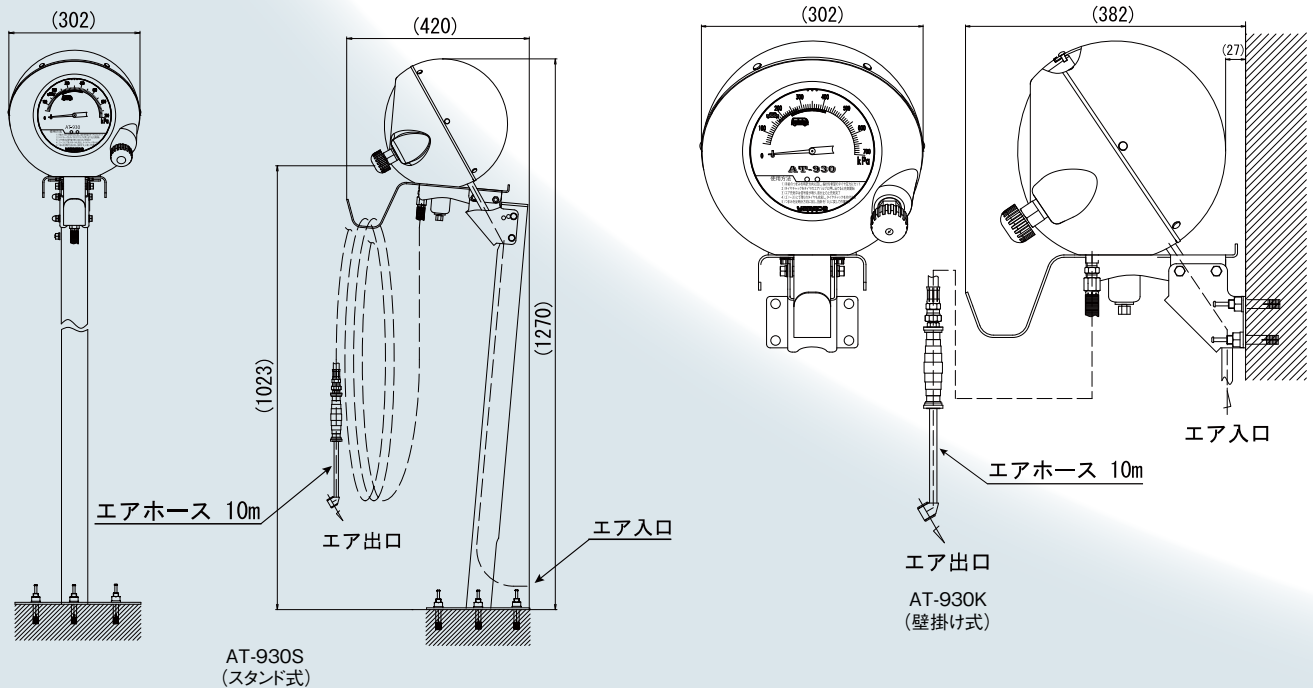
●仕様

製品番号	型 式	主要性能	外観寸法	標準付属品
881163	AT-930S (スタンド式)	設定圧力範囲：50kPa～700kPa 最小目盛：10kPa	全高：1,270mm 全巾：302mm 奥行：420mm 質量：15.4kg	サービスホース.....1 (10m/タイヤチャック付) セットアンカー.....4 コーションカード.....1
881164	AT-930K (壁掛式)	使用温度範囲：+5～60℃	全高：424mm 全巾：302mm 奥行：382mm 質量：11.0kg	サービスホース.....1 (10m/タイヤチャック付) セットアンカー.....4 コーションカード.....1

※本製品は、一般乗用車及び2トントラックまでを対象とした、自動車のタイヤエアを補充するためのエアインフレーターです。他の用途では絶対に使用しないでください。特に大型トラック、エアホーン等への充気や、0MPaからのタイヤへの充気は本製品の故障となります。



●寸法図



デジタルエアタワー

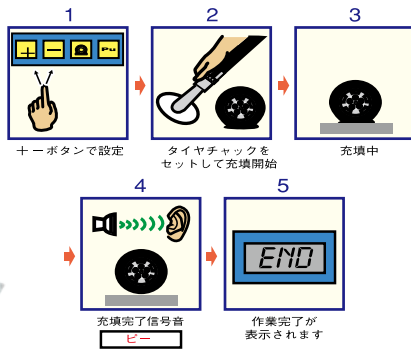
Series DAT

デジタルエアタワー DAT シリーズはデジタル表示タイプのタイヤインフレーターです。

表示部は LED バックライト機能付きで大変見やすく、エア充填中は信号音でお知らせ、完了後は自動停止し完了音でお知らせします。使い易さを追求したモデルです。



881161 DAT-1200K



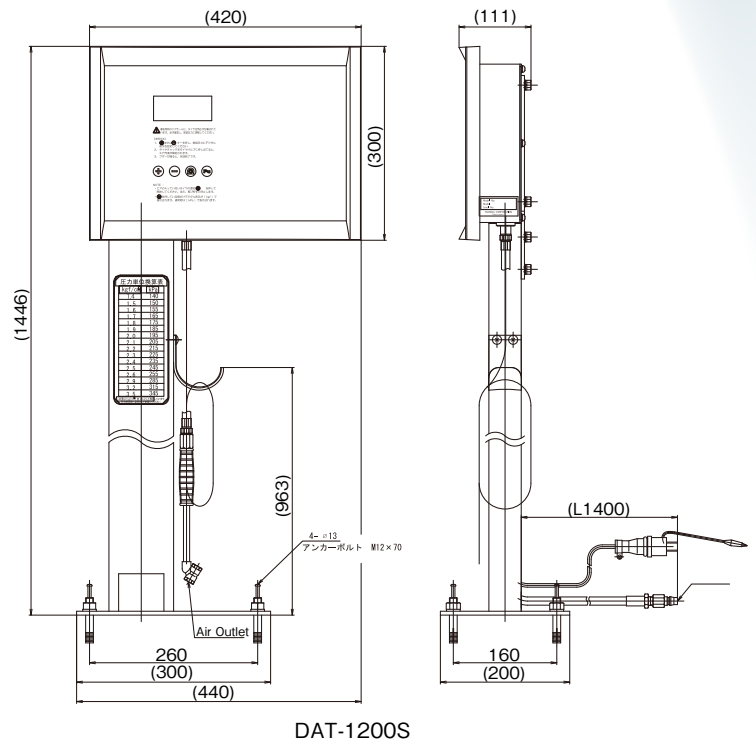
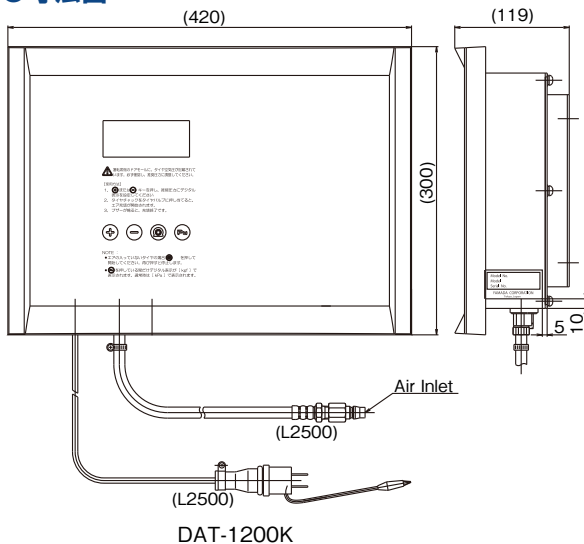
881162 DAT-1200S

●仕様

	壁掛け式	スタンド式
型式	DAT-1200K	DAT-1200S
製品番号	881161	881162
電源	AC100V	50/60Hz
消費電力	約18VA	
最高供給空気圧	1.5MPa	
充填圧力範囲	30~999kPa	
最小設定目盛	5kPa	
精度	±20kPa *1	
温度範囲	-5°C~40°C *2	
ホース長さ	1/4×7.6m タイヤチャック付	
供給エア接続口	エアカプラープラグ付 (PS-20PF)	
外観寸法(mm)	420×119×300	440×200×1446
質量(付属品除く)	6.37kg	18.0kg
付属品	アンカーボルト4本 フック用アンカーボルト2本 サービスホース1本 (タイヤチャック付) ホースフック1個	アンカーボルト4本 サービスホース1本 (タイヤチャック付) ホースフック(本体に含む)

*1 再充填を行った場合、タイヤからタイヤチャックを外した際のエア放出は考慮しておりません。
*2 0°C以下の低温時には、液晶機能限界を超えるため見にくくなる場合があります。

●寸法図



エアーカーリー®

Series ATC

エアーカーリー ATC シリーズは、ポータブルタイプのタイヤエア圧力調整用インフレーターです。
 タンク内にエアを充填、持ち運びし作業がおこなえます。
 タンク内へは付属のスタンドにセットしておくだけで自動的にエア充填されます。



880792 ATC-99S

見やすい手元メーターで操作できるタイプです。質量わずか4.3kgのシンプルなデザインで、誰にでも簡単に使用できます。



881021 ATC-99L

大型メーターで見やすく、エア充填量もスティックバーで微調整も簡単。充填速度も速く、スピーディーな作業が行えます。



881022 ATC-150L

15ℓの大容量で大型なのに軽量で充填速度が速く、RV車にも楽に作業が行えます。大型メーターで見やすく、スティックバー採用で微調整が行え、スピーディーな作業が行えます。ノズルは各種のタイヤに対応！

ATC-99L・ATC-150L



大小2つのメーターにより、タイヤ圧・残圧が見やすくなりました。



グリップ部はゴム製プロテクターを採用。さらに安全になりました。(供給圧用タンク安全弁内蔵)

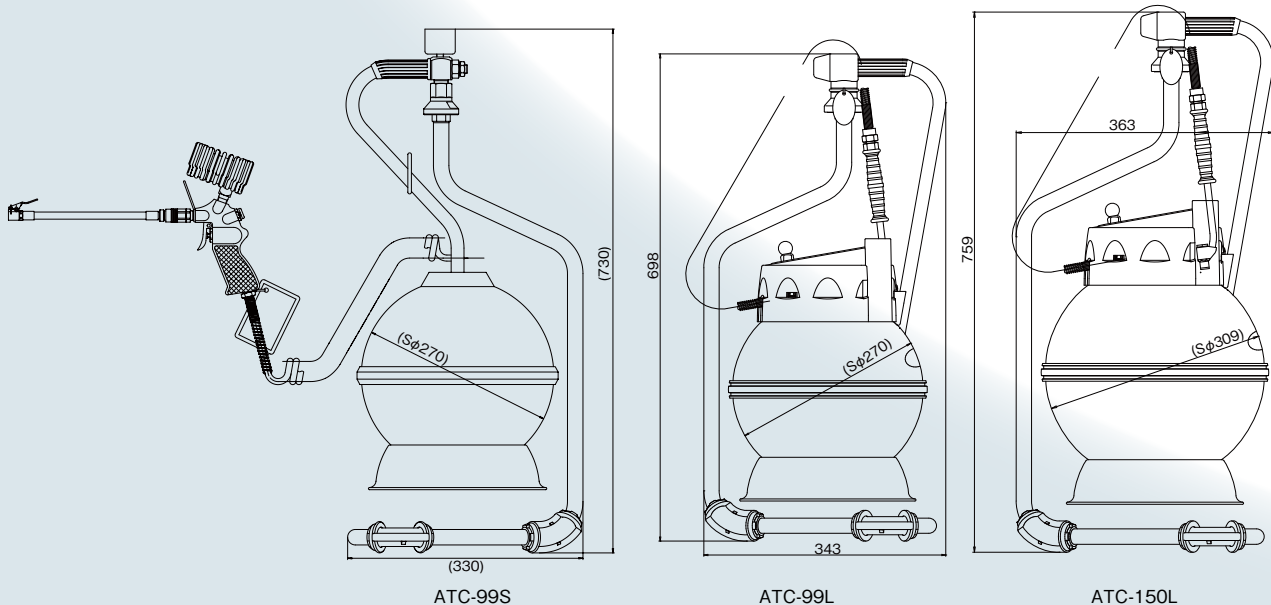


ノズルはアルミホイールなど、ほとんどに対応いたします。

●仕様

製品番号	880792	881021	881022
型式	ATC-99S	ATC-99L	ATC-150L
測定圧力範囲	0~540kPa(最小目盛20)	0~700kPa(最小目盛20)	0~700kPa(最小目盛20)
タンク容量	9.9L(ステンレス仕様)	9.9L(ステンレス仕様)	15L(ステンレス仕様)
質量	本体:4.3kg スタンド:2.0kg	本体:5.6kg スタンド:2.3kg	本体:6.2kg スタンド:2.5kg

●寸法図



ハンドエアインフレーター

HTI-A

ハンドタイヤエアインフレーター HTI-A は、ハンディータイプのタイヤエアインフレーターです。

コンパクトで軽量かつ簡単操作で、軽自動車から大型車両まで幅広く対応できます。

特に大型車両用タイヤでは、エア充填時のタイヤ破損やリング外れなどの危険防止のため、メーターからタイヤまでの間のホースが長く設計されており安全です。

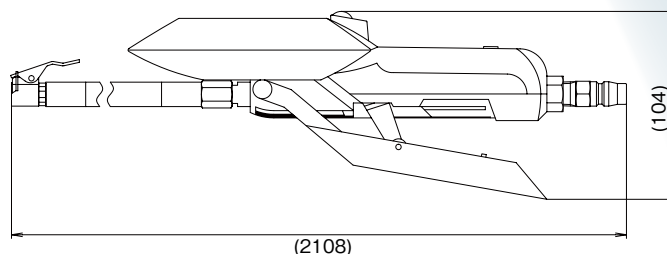
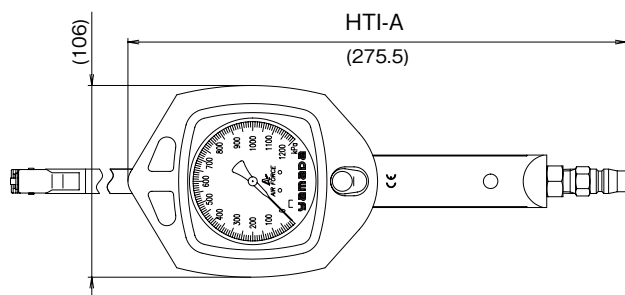


854305 HTI-A

●仕様

表示形態	アナログ	
製品品番	854305	
型式	HTI-A	
エアホース	1800mm	
外観寸法	106 × 275.5	
測定	精度	401 ~ 1000kPa:±16kPa
	使用範囲	1 ~ 1000kPa
	充填空気量	910L/min(一次圧:1300kPa時)
使用温度	-20°C ~ 60°C(結露しないこと)	
質量	0.36kg	
付属品	PSカプラー(684760:20PM)	

●寸法図



●アクセサリ





Air Tower Series エアタワーシリーズ



タイヤの空気充填を安全にご使用いただくために

エアコンプレッサーでの整備時の注意事項

①エアコンプレッサーの調節弁は、タイヤ破裂の危険がありますので、タイヤの使用空気圧に応じ、次表により正しく調整して下さい。

■エアコンプレッサー調節弁の最高調節空気圧

タイヤの使用空気圧区分	調節弁の最高調節空気圧
400kPa(4.0kgf/cm ²) まで	500kPa(5.0kgf/cm ²)
400kPa(4.0kgf/cm ²) 超～600kPa(6.0kgf/cm ²) まで	700kPa(7.0kgf/cm ²)
600kPa(4.0kgf/cm ²) 超～1000kPa(10.0kgf/cm ²) 未満	1000kPa(10.0kgf/cm ²)

- ②破裂の危険を避けるため、タイヤを安全囲いの中に入れる等、安全装置を講じた上、空気を充填してください。
- ③自動車用タイヤの組み立て時のビードシーティング圧は、300kPa(3.0kgf/cm²)とし、これを越える圧は注入しないでください。ビードシーティングとは、タイヤ組み立て時に、タイヤの両側のビードがリムのビードシート部に周上均等にのっていることを確認した後使用空気圧を充填すること。
- ④タイヤを長持ちさせるため、およびタイヤの偏摩耗や異常振動・騒音防止のため定期的に、または摩耗状態によって位置交換を適宜行ってください。
- ⑤タイヤのリム組み後には、エア漏れがないことを確認してください。
- ⑥回転方向および左右等の取付位置の指定のあるタイヤは、指定の通り車輛へ装着してください。
- ⑦タイヤを車輛に装着したときは車体と接触する恐れがないか、必ず確認してください。
- ⑧小型トラックの複輪外径差は、ラジアルは6mm以内、バイアスは8mm以内にしてください。
外径差がある場合は、小さい方のタイヤを複輪の内側に使用してください。
- ⑨アルミホイールの締め付けトルクは(M12で9～12kgsf・m、M10で5～7kgsf・m)で締めてください。
締め過ぎや不足は、変形破損の原因になります。

労働安全衛生規則

■「タイヤの空気充填業務」に伴う事業者の義務


- ①自動車タイヤ組立てに係る業務のうち、空気圧縮機を用いてタイヤに空気を充填する業務に従事する労働者に対し「特別教育」を実施すること。
 - ②エアコンプレッサーの空気取り出し口に「圧力調節弁」を設けること。
 - ③破裂したタイヤなどの飛来を防止するため、「安全囲い等」を設けること。
- ※上記に違反した事業者に対しては、労働安全衛生法第119条の罰則が適用され、6ヶ月以下の懲役または30万円以下の罰金が課せられます。

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

Air Tower Series



 **注意** 本カタログに掲載されている製品の機種選定について機器を適切に扱うために、気体の種類をよくご確認ください。

株式会社ヤマダコーポレーション
YAMADA CORPORATION

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込1丁目1番3号
URL <http://www.yamadacorp.co.jp>

札幌営業所 〒062-0002 札幌市豊平区美園二条6丁目3番16号 仙台営業所 〒981-3137 仙台市泉区大沢2丁目2番3号
東京営業所 〒143-8504 東京都大田区南馬込1丁目1番3号 名古屋営業所 〒463-0052 名古屋市守山区小幡宮ノ腰7番38号
大阪営業所 〒536-0021 大阪市城東区瀬訪1丁目2番20号 広島営業所 〒731-5128 広島市佐伯区五日市中央3丁目3番9号
福岡営業所 〒812-0888 福岡市博多区板付5丁目18番14号 相模原工場 〒252-0212 相模原市中央区宮下1丁目2番38号

製品お問合せはこちらへ  **0120-518-055**

※本誌に記載する製品は改良等により予告なしに変更することがありますのでご了承下さい。

Form No 910-353

発行 1993.09

改訂 2016.01

DC-1450GA